

Go Beyond～今の自分を超えてゆけ！～

# 校長漫筆記

令和 8 年 10 月 30 日

姫路市立高等学校

校長通信 第 25 号

文責 平山智樹

## 良い言葉が、良い人生を切り拓く

生徒の皆さん、日々の勉強や部活、進路や友達関係で悩むことはありませんか。

私は教員になった頃から今に至るまで、周りの人から「先生はいつも前向きで楽しそうですね。悩みなんてないでしょう？」とよく言われます。でも、決してそんなことはありません。



開校したばかりのこの学校をどうすればもっと魅力的にできるか、みんなのために何ができるか、毎日悩みながら試行錯誤を続けています。61 歳を過ぎてからは、健康診断の結果を見るたびに「健康第一だな…」と頭を抱えることだってあります。

では、なぜ私は周りから「いつも前向きで楽しそう」に見えるのでしょうか。その理由は、日頃から意識して使っている「言葉」にあります。

私は普段から「ありがとう」「うれしい」「大丈夫」「何とかなる」といった前向きな言葉をできるだけ口にするよう心がけています。そして同時に、不満やネガティブな言葉は言わないように気をつけています。前向きな言葉を口にしていると、不思議と考え方や心まで前向きになっていくのです。壁にぶつかっても「乗り切れるはずだ」と思えますし、失敗しても「これを次に活かそう」とまた前を向くことができます。

言葉は自分だけでなく、周りの人や環境にも大きな影響を与えます。温かい言葉を使う人の周りには、自然と前向きな人や素敵なチャンスが集まってくるものです。どんな言葉を選ぶかによって、周りからの印象はもちろん、みんなが歩いていく未来そのものが大きく変わっていきます。

作家の井上靖さんは「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」という言葉を残しています。前向きな希望や感謝を口にする人は努力家が多く、不満や愚痴ばかりを口にする人は、人に厳しく自分に甘くなってしまいがちだと感じます。

自分の人生は、自分がこれまで使ってきた「言葉」によって作られていきます。本校のスローガンである「Go beyond 今の自分を超えてゆけ！」は、大きな目標に挑戦することだけを指すものではありません。日頃から自分や友達に掛ける言葉を前向きなものに変え、自分の考え方の枠を超えていくこともまた、立派な実践です。

悩みや壁にぶつかった時こそ、自分がどんな言葉を使っているか、少し立ち止まって耳を傾けてみてください。前向きで温かい言葉を選び、自分自身の素晴らしい未来を、自分の手で切り拓いていってくれることを心から期待しています。